

竹炭を利用した草花の栽培管理

【活動グループの紹介】

千葉県立成田西陵高校は、創立110年を超える歴史と伝統のある農業と商業の専門高校です。4学科の一つである園芸科では、1年生で野菜・果樹・草花・作物といった園芸に関する基本的な技術・知識を学び、2・3年生で選択した専攻ごとに知識・技術を深めています。

草花専攻チームの皆さんには、2年生9人、3年生11人の計20人で活動しています。発表等は2年生が中心となって行っていますが、活動自体はチーム全員で週3回の授業の中で取り組んでいます。

[千葉県立成田西陵高等学校](#)

←学校の詳細はこちらから！

【取組の紹介】

高校敷地内の竹林が花の栽培を行っているガラスハウスの近くまで迫っていました。そこで、竹を伐採し、伐採した竹を有効活用しようとしました。活用方法の1つ目が竹を竹炭にして、培養土と混ぜ、有機資材として草花の栽培につなげています。2つ目が竹を利用したプランターの作成です。現在、作った竹炭を碎いて粉末状にする段階まで取組が進んでいます。

また、2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）政府出展エリアでガーデンを企画制作する「高校生ガーデン制作プロジェクト」に選定されたため、そこで竹を活用したプランターもガーデンに展示される予定となっています。このイベントに向けて、みどりチェックをクリアする必要があるため、今後も環境に適応した農業を実践していきます。

グループ名

草花専攻チーム

（千葉県立成田西陵高等学校）



Q1 取組のきっかけは？



花の栽培を行っているガラスハウスのすぐ近くまで、竹林が侵食していたためです。このままだと、倒竹のリスクや日照が確保できなくなる可能性があるため、竹を伐採し、それを有効活用しようと考えました。

草花専攻チームの
みなさんに聞きました！

Q2 取り組んでいて楽しかったことは？？

竹炭をハンマー等を用いて、碎くことが楽しかったです。また、竹を切って燃やすときに節があると、大きな音が出るため、節をナタで取り除く作業があるのですが、この作業が楽しかったです。



Q3 普段の授業では何をしているの？

現在はガラスハウスでシクラメンを栽培しており、1日2時間ほど栽培管理を行っています。シクラメンは11月に開催される文化祭で販売するほか、本校で開催するイベント「シクラメン祭り」でも販売を行います。



Q4 今後の目標や抱負は？

GREEN × EXPO2027で使用する竹プランターのデザインをもっと工夫していきたいです。今後もガラスハウスへの影響がないよう竹の伐採を続けていきます。本取組を通じて学んだことを他の竹林でも活かしていきたいと思います。



取材を終えて

○授業中にもかかわらず取材させていただき、ありがとうございました！

竹の侵食を解決するために、自分たちで竹炭を作りそれを土壤資材にする取組は、花の栽培だけじゃなく様々な作物を栽培することに活用できると思います。取組の途中であるとお聞きましたが、良い結果が生まれることを期待しています。

竹の問題は全国的にも問題となっている取組ですので、今後、この取組がより広まっていくと良いなと思います。これからも頑張ってください！

○千葉県立成田西陵高等学校草花専攻の皆様、現地交流会への取材対応、ありがとうございました！

とても緊張しているのがひしひしと伝わる中、すべての質問に答えていただきありがとうございました。

現在GREEN × EXPO2027に向けて準備をしている途中であるところ、実際に試作中の竹プランターを見た時にはすごっ！と思いました。様々なデザインのプランターにきれいなお花が咲いたら、本当にきれいなんだろうなとても楽しみになりました。今後の活動も応援しています！！

